

グルメガーデン ラグビーを観戦しながら、北海道の食を楽しめ！



炎天下でも大行列ができたグルメガーデンのキッチンカー

ミッション

ラグビーファンに敵味方は無い。観戦もアフターマッチも国やチームを超え、ビールとフードで交流する時間と場を提供する。

レポート

ラグビーには、試合後に敵味方関係なくビールを片手にお互いを讃え合う「アフターマッチファンクション」という伝統的な文化がある。「ノーサイドの精神」を体現する、ラグビーならではの風習である。試合後の余韻を楽しんでいただくために18時までお店をオープンした。閉店時間になっても居座るファンが続出するほどの大好評であった。

北海道のブランド牛を使用したカルビ串、北海道産小麦と原料にこだわった薪焼きピザ、美瑛ジャージー牛のソフトクリーム、観光地小樽で人気のザンギ、指定農家さんこだわりのフライドポテト、名物スープカレーなど、北海道の食にこだわったキッチンカーのラインナップは、地元の観客は勿論、道外から訪れた方々にもとても好評であった。

営業時間 11:00-18:00

お天気：晴れ

キッチンカー：11台

来場者数：約1万人（ドーム来場者数の約40%）

ラグビー体験コーナー 驚きと感動で、ファンを獲得せよ！



ミッション

初めて、楕円球に触れたり、相手にブチ当たったり、ラインアウトで持ち上げられた時の驚きや感動は言葉では表現できない。この驚きと感動を体験メニュー化し、ラグビーの普及とファンの獲得につなげる。

レポート

札幌ドーム初の日本代表戦ということもあり、屋外テラスには早い時間からたくさんの方が集まり賑わっていた。

この屋外テラス会場でのラグビー体験を北海道ラグビーフットボール協会札幌支部社会人クラブ委員会のメンバーと札幌山の手高校女子ラグビー部のメンバーの約20名で担当した。ラインアウト体験とストリートラグビー体験を交互に行う予定であったが、ラインアウト体験の人气がとて高かったため、実施比率を多めに行った。



ラグビー体験の参加者は、子ども達ばかりと想定していましたが、思いのほか大人（特に女性）が多く、北海道においても広くラグビー人気が高まっていることを実感することができた。

今回のスタッフは、参加者に楽しんでほしい！という気持ちで担当していましたが、実際には参加者以上にスタッフ全員がこのラグビー体験を楽しんでいた。社会人クラブ委員会スタッフの所属チームは別々ではあるが、ラグビー文化特有のチームの枠を超えた絆で、会場全体を盛り上げることができた。

また、札幌山の手高校女子ラグビー部のメンバーの笑顔はラグビー体験に参加した方達に安らぎを与え、ラグビー体験コーナーの楽しい雰囲気を出していた。

いつも大人気の体験コーナーを支えるクラブチームメンバーと山の手高女子ラグビー部

餡子(あんこ)プロジェクト 低カロリーで糖質を補給せよ！

ミッション

小豆大国である北海道の餡子の力で、観客と選手に元気と満腹を与える。



あんこプロジェクトのコンセプト

レポート

あんこは究極のアスリート食！小豆は低脂肪でタンパク質も豊富。ラグビーの練習や試合後、ちょっと甘いものを食べたいときやエネルギー補充に、炭水化物を多く含んでも脂質の少ないあんこは最適である。

今回ご協力いただいた2社は、どちらも札幌の老舗銘菓！！

サザエ食品株式会社様と月寒あんぱん本舗株式会社様は、ラグビーというスポーツの普及活動に賛同していただき、快く自社の餡子商品をご提供いただいた。その数なんと500個！ご提供いただいたピロ十勝大福と月寒あんぱんは、試合前の練習に参加した学生たちにはもちろん、来場特典として観客にも先着順で配り、ラグビーあんこプロジェクトを広く知ってもらう機会となった。



大人気のあんぱんは即時配布完了

牛乳無料配布 もオ～、感激！

ミッション

酪農王国である北海道の牛乳で、観客と選手に元気を与える。

レポート

【酪農王国北海道だからこそそのラグビー応援】

北海道に日本代表の試合を再び！ラグビーをこれからの世代にもっと広げたい！！という熱い気持ちで北海道ラグビー協会は活動している。その結果、酪農学園大学ラグビー一部OB会長の小林牧場小林社長が手を挙げてくれた。ラグビーに欠かせない丈夫な骨づくりを担う牛乳をもっと飲んでほしいと。なんと2000本の北海道牛乳を協賛品として、試合当日の早朝に運んできてくれた。ラグーマンの熱い想いに、札幌農業協同組合様も共感していただき、協賛いただき2000本の牛乳は、来場特典として先着順で観客と、将来の日本代表を夢見るラグーマンたちに配られた。

「小林牧場物語」シリーズは、小林牧場産の生乳を100%使用したシリーズです。

小林牧場で搾乳後、すぐに貯乳タンクで冷却された生乳は、車で10分ほどの場所にある札幌市厚別区の新札幌乳業へとスピーディーに運ばれ、他の生乳とは別のラインで管理・加工され、文字通り、生産者の顔が見える特別な牛乳・乳製品になります。

新札幌乳業 HP より



冷蔵設備と連携リレーしながら2000個の牛乳は40分ほどで配布完了

札幌ラグビーの熱戦後に、北の名酒の味わいが加わる！



ビール党は日本酒通なのか、、、杜氏である川端さんみずから準備中
川端さんも元ラグーマン



やはりビール党は日本酒通でもあった。200杯が即終了

ミッション

ラグビー好きはほぼ間違いなくビール党、そして日本酒通にちがいない。北海道の美酒を世界に発信しよう！

レポート

試合終了後、ラグビー文化でもあるアフターマッチファンクションの一環として、グルメガーデン会場で、北海道を代表する日本酒造「上川大雪」による6升の“ふるまい酒”を実施。試合終了の興奮に加えて、北の大地の味わいを楽しんでいただけました。当日は上川大雪の杜氏川端氏が自ら、試合後のお客様にふるまい酒を提供し、北海道のお酒と試合の余韻を観客の皆様同士で楽しめる場づくりをできたと思います。これからもラグビーと北海道ブランドのクラフトドリンクで、試合の興奮と共に北の大地の魅力を発信していきます！

場所：グルメガーデン（協賛品配布テント）

時間：16時からスタート

提供：50mlの日本酒提供（100mlカップ）200杯程度
（おひとりさま一杯まで）

ミニラグビー交流会 世界レベルの舞台に子供たちを！



ミッション

テストマッチや国際レベルが行われる試合会場にラグビーの未来を担う子供たち招いて、ラグビー教室やミニラグビー交流試合を行い、一生の思い出を提供する。



レポート

「北海道ラグビーの日」として、試合観戦だけでなく、一日中ラグビーを楽しむ風土の定着と日本代表テストマッチを盛り上げることを目的として、札幌ドームサブグラウンドをお借りし、小学生・幼児によるミニラグビー交流会を実施した。参加選手総数 173 名の他、同伴の保護者の方々にも、ラグビー文化と興行としての取り組みを伝える良い機会になったと捉えている。

札幌支部普及育成委員会のメンバーが主体となって交流会の企画（参加募集、対戦調整等）を行い、グラウンドの設営やレフリーなど、参加チームに帯同する指導者の方々や遠方から来場された普及育成委員のメンバーなどにより、参加者全体で協力し合いながら、非常に暑い日だったが、ケガも事故もなく、交流会を無事終えることが出来た。

一方、対応していただく指導者の方々の観戦の向けた負担軽減等（駐車場の確保を含め）が課題となった。



試合観戦前にサブグラウンドでミニラグビーをするキッズ

【小林牧場様からの牛乳プレゼント】

小林牧場様からの新札幌乳業ラベルの牛乳の無償提供をいただき、交流会を頑張った子全員に配布し、大変好評であった。子供達は汗だくになりながら、元気に笑顔で受け取る様子が非常に良かったと思う。また、配付の際は、当日の「グルメガーデン」のチラシも配付し、キッチンカーや体験コーナーといった次のイベントへ誘導。時間的にも途切れない構成となっており、イベントとしての一体感も演出出来たと考えている。